

2003年5月2日

加齢に伴ってしのびよる、目の奥に潜む病気の情報を追加 参天製薬の患者さん支援サイト「ひとみ学園」がさらに充実

参天製薬株式会社（本社：大阪、社長：森田隆和）は、この度、2002年4月からホームページ上で提供してきました、目の病気と治療に関する患者さん支援サイト「ひとみ学園」（総監修：帝京大学名誉教授 丸尾敏夫先生）の内容をさらに充実させました。これに伴い、「ひとみ学園」は、眼科のほぼ全領域をカバーする内容となりました。

「ひとみ学園」は参天製薬ホームページから「ひとみ学園」のアイコンをクリックするとご覧いただけます。

<http://www.santen.co.jp>

「ひとみ学園」では、患者さんやそのご家族の疾患に対する理解促進や、医療関係者の服薬指導にお役立ていただくことを目的に、目の病気とその治療方法、目のしくみなどの基礎知識、治療薬や眼科用語などについて、発症メカニズムの図解などを用いて分かりやすく解説しています。



新たに情報を拡充したのは「目の奥の病気」の項目で、「網膜裂孔(れっこう)・網膜はく離」「黄斑変性(おうはんへんせい)」「中心性網膜症」「網膜動脈閉塞症」「網膜静脈閉塞症」「網膜色素変性症」「視神経炎・視神経症」の7つの疾患別コンテンツが追加になりました。以前から紹介している「緑内障」を含め、「目の奥の病気」は加齢に伴い発症リスクが増し、気付かぬうちに症状が進行していることも多い疾患です。そのため、疾患の正しい理解と早期発見・早期治療が課題となっていますが、これらの症状に対する認知度はまだまだ低いのが実状です。

参天製薬では、「ひとみ学園」が、症状を自覚しやすい「目の表面の病気」はもとより、発症のサインを見逃しやすい「目の奥の病気」の理解促進につながり、皆様の目の健康とケアに役立つことを願っています。

【参天製薬について】

参天製薬は眼科とリウマチに特化した独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・増進に貢献しています。売上高の約 80%を占める医療用眼科薬では、あらゆる眼科疾患に対する優れた医薬品の創製と医療現場のニーズに即した情報提供に取り組み、国内 No.1 の地位を獲得しています。

以上

(注) このサイトに掲載されている情報は、医師の医療アドバイスに代わるものではなく、あくまでも病気と治療方法に対する理解促進の一助となることを目的に提供させていただいております。実際の治療は医師の指導のもとに行っていただきますようお願いいたします。